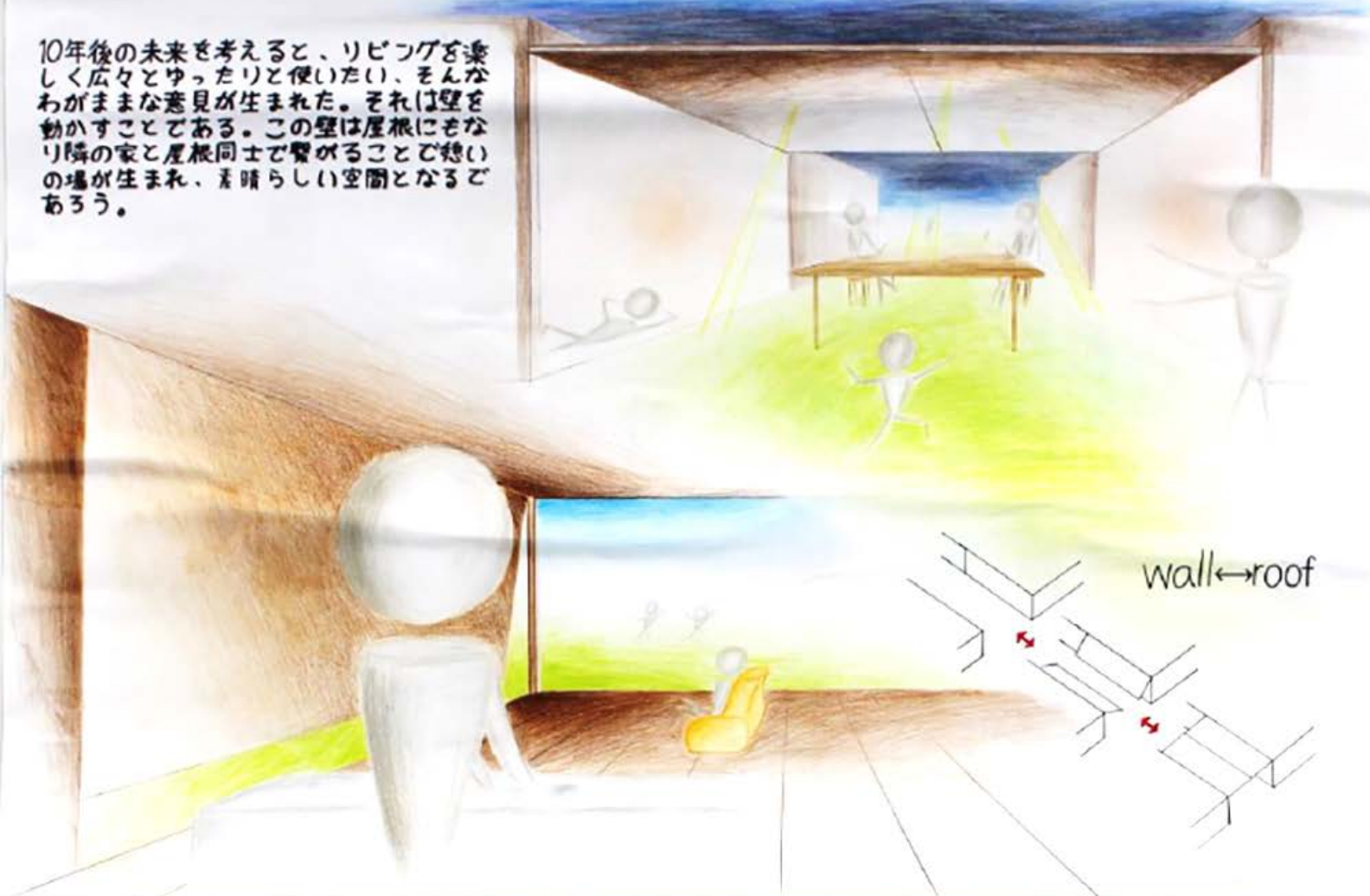


## 彩り、動かし、そして繋がり...

10年後の未来を考えると、リビングを楽しく広々とゆったりと使いたい、そんなわがままな意見が生まれた。それは壁を動かすことである。この壁は屋根にそなり隣の家と屋根同士で繋がることで憩いの場生まれ、素晴らしい空間となるであろう。



## 利用している技術

### 家具を自動で動かす



日産自動車株式会社

自動運転技術を活用して、部屋の隅に設けられたカメラで家具の位置を認識し位置情報を送ることで、家具を自由に動かし、家具の配置換えを自動でできるようにする。

引用元

(<http://www.nissan.co.jp/BRAND/TFL/>)

### 床・壁の模様替えを自動で行う



MITのXuanhe Zhao准教授とデューク大学 Stephen Craig教授らのチームが開発したのは、色と質感を同時に変化させられる柔軟な素材である。これはエラストマー（ゴムのような高分子化合物）の一種で、電気で活性化する性質を備えている。素材に電圧をかけると、滑らかだった表面がでこぼこになり、同時に色合いも変化する。この技術を用いて、自動で床や壁の模様替えを行う。

引用元

(<https://www.tel.co.jp/museum/magazine/news/149.html>)

### ライトが天井を自在に動く



Flos社が開発したFlos Smart Controlは、超精密でワイヤレスで制御される小型化エンジンとセンサーを搭載した革新的な指向性スポットライトの新技术である。照明器具とスマートフォンだけで、光を指のタッチで制御して、新しいアーキテクチャ構成や空間に集中することができる。

引用元 (<https://pld-m.com/en/smart-control-von-flos/>)